

大飯原発4号機、再稼働

高浜、大飯で各2基 若狭湾に集中

福島事故の反省なく 原発依存に固執

再生可能エネルギーに移行を

関西電力は9日、大飯原発4号機（福井県）を再稼働させました。2013年9月に定期検査で停止して以来、稼働は4年8か月ぶり。福島原発事故以来の新規制基準にもとづく再稼働は、全国で5原発8基目です。

八幡市は80キロ圏内

関西電力はすでに再稼働している、高浜原発3、4号機、大飯原発3号機に続いて4基目になります。全国の稼働原発の半数が若狭湾に集中しています。

大飯、高浜原発から八幡市は80キロ圏内にあります。アメリカ政府は、福島原発事故の際、80キロ圏内には定住しないことを勧告しました。80キロ圏は、原発で大規模な事故が発生すれば、放射線被ばくによるリスクが生じる地域なのです。

政府は、福島原発事故の反省もなく、原発を「基幹電源」と位置づけ、各地の原発を再稼働しています。さらに海外へ

の原発輸出にも力を入れています。

再稼働した原発への対応でも、大飯、高浜両原発の事故時の住民避難計画には、同時事故を想定していません。

原発80キロ圏に位置する八幡市では、京都府内の丹後地域の住民の避難地域に想定されていますが、前述したように、八幡市自身も原発事故の際、住民が避難する事態を考えなければならない地域です。現在の避難計画自身も矛盾に満ちた計画といわざるを得ません。

「原発ゼロ基本法案」

日本共産党など4野党は国会で、「原発ゼロ基本法案」を提出しました。「原発ゼロ」の政治決断を迫るとともに、再生可能エネルギーの飛躍的な拡大にすすむことこそ必要ではないでしょうか。

政府・電力業界はもちろん地方自治体においても、原発に依存したエネルギー政策を見直して、再生可能エネルギーへの移行を進めるべきです。

府市政 報告会

市民の負担、まちづくり、防災、財源は？

10日、3月府議会・市議会報告会を開催し、森下よしみ府議、日本共産党八幡市議団4人が報告。各地域・分野から28人が参加されました。議会報告会は各地域、分野ごとに7回開きます。

水道料金値下げしてほしい、保育園と幼稚園の統合でこれからどうなるの、府営住宅のアスベストや地域の不法な土砂搬入はどうなるのかなどの意見が出されました。

